

中学3年・総合学習、オンライン学習

中華人民共和国・青島日本人学校

1 前提

学校環境

- » 全校児童生徒 50 名前後の小規模校
- » コロナ以前から iPad やノート PC を活用した授業を展開。コロナ以降は休校期間中の児童生徒の学びの保証や精神的な負担の軽減、生活リズムを整えることなどを目的に双方向のオンライン授業を実施
- » ICT を活用した教育体制構築に関する実証事業を通し、電子黒板、ロイロノート、ラインズ、オンライン会議システムなどを整備

課題と目標

<課題>

「働くこと」に対して「欲しいものを買うために働く」「働いてやりがいを感じたい」など漠然としたイメージしか抱いていない。

<目標>

- » オンライン企業訪問などの体験活動を通して、仕事内容や企業で働く人の生き方などに触れ「働くこと」を身近に感じることで、具体的にイメージできるようになること。
- » 学習を通して、生徒が「将来社会で働く自分」は「中学生である今の自分」とつながっていることに気づき、自己の生き方について主体的に考える姿勢を持つこと。

2 実践の内容

活用した ICT ツール

ハード

- PC内蔵型電子黒板
- iPad

ソフト

- オンライン会議システム
(Zoom、Teams、Blue Jeansを
交流先企業によって使い分ける)
- ロイロノート

具体的な活用方法

<オンライン企業訪問事前マナー講座>

Zoom を使用し「オンライン企業訪問に向けてのマナー講座」を行った。1 時間のオンライン講座であったが、通信機器のトラブル等もなく、スムーズに行うことができた。外部の方との交流に中学生も緊張感をもって取り組むことができた。教えていただいたことを翌日から早速実践している生徒もあり、良い刺激も得られたようであった。※図 1

<オンライン企業訪問①(ハーゲンダッツジャパン)>

Blue Jeans は青島日本人学校では普段使用していない会議ツールのため、うまく接続するか不安な点もあったが、大きなトラブルもなく接続でき、オンライン企業訪問も問題なく実施することができた。最初にこちらのスピーカーが初期設定でヘッドホンになっており、相手の声が聞こえなかったが、すぐに対応することができた。生徒は、社員の方の話に熱心に耳を傾けていた。生徒にとって働くことについて考える、とても貴重な経験となった。

<オンライン企業訪問②③(セールスフォース・ドットコム、ソニー)> Zoom、Microsoft Teams

セールスフォース・ドットコムとの企業訪問では、会社紹介に加え、企業が社会貢献する意義などについても話していただき、生徒は「働く」ことの違った側面についても知ることができた。また、当日は 10 名もの社員が参加し、ブレイクアウトセッション機能を用いて、少人数(1 ルーム社員 2 名、生徒 2 ~ 3 名)で人生グラフ(一人一人の経歴)の紹介や質疑応答などに応じてくれ、非常に有意義なグループワークとなった。

多人数の参加ということもあり、難しい面もあるかと不安であったが、打ち合わせから非常に丁寧に対応してくださり、スムーズに実施することができ、45 分の設定時間では短くらいであった。※図 2



図 1 マナー講座の様子



図 2 オンライン企業訪問の様子

3 成果

ICT ツールを活用したことでできるようになったこと

ICT 機器を使うことで生徒は、コロナ禍においても実際に足を運んで体験することと遜色ない、あるいはそれ以上の体験をすることができた。受け入れていただける企業次第ではあるが、キャリア教育の観点からも今後も続けていきたい実践である。

児童生徒、教師、保護者の反応

<授業担当教師の振り返りより>

PC 内蔵型電子黒板を使うメリットは何とんでもその画面の大きさである。また、カメラやマイクの位置を自由に変えたり、会議ツールを事前にインストールして準備することができたりしたので、オンライン企業訪問全体をスムーズに実施することができた。